

令和7年度 保土ヶ谷高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上	法令の遵守 服務規律の徹底	事故防止に関する通知や啓発資料、教育公務員の不祥事に関する事案等を基にして、不祥事防止研修や朝の職員打合せ等で情報共有や注意喚起を行い、法令順守の意識の向上が図れた。また、全職員が研修会に参加し討議を重ねることで意識の向上につながった。
②職場のハラスメントの防止	パワハラ・セクハラ・マタハラ等の根絶	不祥事防止研修で事例を基に注意喚起を行い、当事者意識を持つことができた。また、人権教育研修会を実施し、人権感覚の醸成と人権意識の向上が図れた。
③生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為の根絶	不祥事防止研修や日常的な注意喚起により、生徒との適切なコミュニケーションを図る必要がある。またコミュニケーションツールの適切な使用に関してさらに徹底する。
④体罰、不適切な指導の防止	生徒理解に基づく指導の推進、不適切指導の防止	生徒・保護者への説明責任を果たすために、学年中心に生徒情報の共有と生徒理解を深め、丁寧で粘り強い対応を行った。また、生徒指導については複数職員による指導を徹底し、適切な指導が行われた。
⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故の未然防止	入学者選抜、成績処理関係書類の作成及び取扱いについては、通知や研修を通して周知徹底を心掛けたがまだ不十分であった。進路関係書類の作成では複数のチェック体制で適正な処理ができた。
⑥個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等の適切な管理及び情報セキュリティ対策の徹底	教務手帳の一元管理と、定期テスト答案等個人情報の誤配付・誤廃棄防止の徹底が図れた。また、「個人情報校外持ち出し許可願」等を活用して情報セキュリティ対策に関する意識の向上が図れた。
⑦交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故防止及び交通法規の遵守	交通事故防止に関する啓発資料等を活用し、交通法規遵守に対する職員の一層の意識向上と事故発生後の適切な対応を行う。
⑧業務執行体制の確保等	業務の効率化及び事故防止	I C Tの積極的活用により、業務の合理化を図ることができた。また、複数職員での業務遂行、チェック体制により事故防止が図れた。
⑨財務事務等の適正執行	財務事務等の適正執行及び不適切経理処理の防止	職員相互のチェック体制により、各帳票類の作成が適正に行われた。また、会計担当者相互に情報を共有することで経理処理が適正に行われた。

(学校長意見)

不祥事ゼロを達成するために、不祥事防止研修や職員打合せ等を通じた不祥事防止の取組について今まで以上に職員一人ひとりが当事者意識を持たせることが必要である。特に、わいせつ事案の根絶に向けては、映像資料を活用した研修等を行い意識の向上を図る。

また、書類の作成段階での確認不足によるミスが発見されることがあったため、慎重かつ確実に業務を遂行するための取組を行う。